

(別添資料1)

事業所名	Apollo 支援プログラム (参考様式)		作成日	2026年4月1日
法人(事業所)理念	”世界をもっと楽しく、もっと心地よく” 誰もが自然体で過ごせる、そんな毎日をつくるために。私たちは、楽しさと優しさを届ける存在であり続けます。			
支援方針	・日常生活や他者とのコミュニケーションに課題を抱えた子どもたちにソーシャルスキルトレーニングを行い、自信をもって人と関わり社会に出ていく力を育みます。 ・粗大運動、微細運動を取り入れた活動を実施し運動機能の向上を目指します。 ・子どもたちの特性を理解し、強みに着目して支援する中でありのままの姿を受け止め認めることで自己肯定感を高めていきます。			
営業時間	10時0分から 18時0分まで	送迎実施の有無	あり	
支援内容				
本人支援	健康・生活	・生活リズムを整え、健康的な生活習慣が身につくようにします。 ・日常生活に必要なスキルの向上、分かりやすく構造化された空間で安心して過ごせるようにします。 ・自立した生活に向けてスケジュールや持ち物の管理が出来るようにします。		
	運動・感覚	・粗大運動、微細運動を安全な環境で実施します。 ・姿勢の保持や手先の技能など様々な課題に合わせた支援を実施します。 ・感覚の敏感さや鈍麻を把握し個々に合った環境調整を行います。		
	認知・行動	・こだわり等の認知特性を十分に配慮した活動を行います。 ・スケジュールの見通しが持てるよう、視覚的支援の掲示を行います。 ・行動障害に対して望ましい行動へ変換していくことができるよう観察し対応していく。		
	言語 コミュニケーション	・個々に合ったコミュニケーションの方法を用いて、関わることで意思疎通を図ります。 ・信頼関係を築き、遊びを通して関わる中でコミュニケーションの楽しさを伝えていきます。 ・名称や状況を分かりやすい言葉で伝えることで言語の理解と表出に繋げていきます。		
	人間関係 社会性	・体験や遊びを通して社会的なルールの理解や必要なスキルが身につくよう支援します。 ・適切な物理的、心理的距離感を知り、他者の気持ち思いやることで信頼関係を築けるように支援します。 ・自分自身をよく知ることで、行動の理解や抑制ができるようにします。		
家族支援	・育児に関する不安や困りごとに対して丁寧な聞き取りと相談支援を行います。 ・支援の場を家族が見ることが出来る機会を作り安心して通所できるようにします。 ・家族が参加できるイベントを実施します。			
移行支援	・切れ目のない支援を実施していきます。そのために関係機関との必要な情報共有や連携を行います。			
地域支援・地域連携	・地域の福祉事業所との情報共有や合同研修などを行います。 ・放課後等デイサービスや発達支援に関する啓発活動に努めます。			
職員の質の向上	・定期的な事業所内での研修に加えて、外部講師を招いて研修を行うことで職員の専門性を高めます。			
主な行事等	・季節に関する行事(お花見、七夕祭り、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、書初め大会) ・長期休暇中の行事(課外活動、クッキング、) ・その他(外部講師を招いてのイベント実施、公共交通機関の利用練習、買い物体験)			